



ジェントルハート通信

No. 41 秋号
発行日 2013. 11. 25

『いのちが活かされる第三者委員会であるために』 理事 大貫隆志

発行
NPO法人
ジェントルハートプロジェクト

事務局
〒210-0843
川崎市川崎区小田栄1-8-3 青山
Tel & Fax
045-845-3620(小森)
E-mail admin@gentle-h.net
URL http://www.gentle-h.net

会員登録及びカンパは随時受付中
正会員 1口 2,000円
賛助会員 1口 1,000円
郵便振替
口座番号:00200-8- 111295
口座名義:ジェントルハートプロジェクト
振込用紙に会員の種別を明記下さい



目次:

巻頭コラム	P 1
いじめを受けている皆さんへ	P 2-3
いじめアンケート集計報告	P 4-5
活動の報告と今後の予定	P 6-7
橋がかかる	P 8

ジェントルハート通信第41号
定価100円(会員は無料)

いじめ防止対策推進法が定められ、いじめによる「重大な事態」が起こった場合には、「学校は速やかに、適切な方法によって事実関係を明確にするための調査を行う」となりました。これまで多くのいじめ自殺事案で、学校主導で事実の隠蔽が行われ、事実とは異なる情報がねつ造されてきました。こうしたことと比べれば、三者委の設置は喜ばしいことのように思えます。しかし事はそう簡単ではないのです。

三者委が設立され、教師へのアンケート、生徒への聞き取りなどの調査を行ったと聞けば、事実関係をしっかりと調査したように思いがちですが、教師アンケートの回収率は50%強、生徒への聞き取りは十数人程度といった調査も事実存在します。当然のことながら、この程度の調査では、自殺の原因や背景要因などわかるはずはありません。結果として「いじめはあったが、自殺との因果関係は判断できない」と結論づけられます。

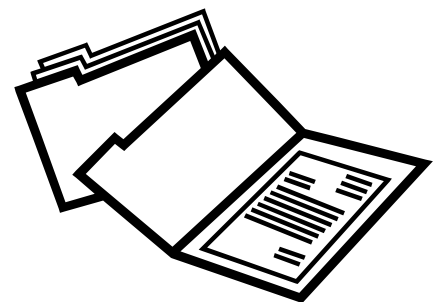
このような調査では、有効な再発防止策はとれませんし、わが子がなぜ死ななければならなかったのか、その理由を知りたいと願う親の気もちは満たされません。そして、ひとりのこどもの死は、活かされることなく葬り去られるのです。

これが、新たな隠蔽ツールとしての三者委問題です。

230ページに及ぶ調査報告書を取りまとめた大津の三者委は、三者委のあり方について「委員の選任手続の公正、独立の確保」が大切であり、「委員会の活動の中で最も重要なのは、調査活動である」とし、「予め第三者委員会の設置を想定して、公正な選任手続、権限、スタッフな

どについて条例を制定しておいて、可能な限り委員会の早期の設立を可能とし、活動をスムーズなものとするための規定を設けておくことが重要」としています。さらに、学校や教育委員会の調査への取り組みについて「学校や教育委員会に如何に痛みを伴うものであったとしても、事実を解明してそこから真摯に教訓を得ようとする姿勢は、必ずや信頼を得るものである。特に、子どもたちは、教員たちが真摯に行う姿を知ることによって、信頼を寄せるようになることは明らかである」とまとめています。

量産されている三者委には、こうした哲学は見受けられません。いわゆる学識経験者は、それぞれの専門分野におけるスペシャリストですが、いじめ自殺問題の専門家ではありません。調査委員が熱心であっても、事実関係を明らかにすることに對し積極的ではない学校や教委に縛られ、身動きがとれなくなることもあるでしょう。こうした状況を切り開く事のできる知識や交渉術を身につけた、スペシャリストの養成が急務であり、それこそが、いじめ背景調査に必要な専門的知見といえるでしょう。スペシャリスト育成のプロセスは、私たちの情報や経験を活かすことのできる場だと思えます。



今回の『いじめ防止対策推進法』の成立から基本方針策定に尽力された小西議員のホームページから発信された、子どもたちへ向けた思いが込められたメッセージを紹介させていただきます。

いじめは必ず発見される。必ず救われる。

～いじめを受けている皆さんへ～

・今日（10月11日）から、日本中の学校で、皆さんを守るための世界で一番のいじめの対策がスタートします。

・「いじめ防止対策推進法」は、私が中心となって作った法律です。そして、法律のルールを決める基本方針も、皆さんを必ず守れるものになるように頑張りました。

・今、いじめを受けている皆さんは必ず発見され、必ず救い出されます。

・今、いじめをしている皆さんは必ずいじめを止めさせられ、また、二度といじめは許されないようになります。

・いじめを見ている皆さん、いじめに気付いている皆さんは、いじめられているお友達を助けるために、決して皆さんが仕返しを受けたりすることなく、安心して学校の先生や周りの大人の人に相談できるようになります。

こうした仕組みが日本中の学校でできるような法律とルールを作りました。

◇皆さんのいる全ての学校に、いじめ対策のチームが設置されます。

・チームには、学校のたくさんの先生が参加します。

・チームには、生徒指導や学年主任の先生だけでなく、養護の先生や、学級担任の先生、教科担任の先生など、学校中の先生が参加します。

・また、このチームには、学校の先生以外の皆さんを守る役目の人たちが、先生たちを応援し、皆さんを守り切るために参加します。弁護士や人権擁護委員、警察OBなどの人たちが参加します。

○学校で起きた全てのいじめはこのチームが対応し、皆さんを救い出し、いじめを止めさせます。

・さらに、このチームは、皆さんのお父さんやお母さんをしっかり支えて、お父さんやお母さんと一緒に皆さんを必ず守ります。

◇学校の中や学校の外で発見されたいじめは、全てこのチームに報告されます。

・特に、学校の先生はいじめを発見したら必ずこのチームに報告しなければなりません。

・いじめは、「ふざけているようだけど、本当は辛いのではないか」、「ケンカのようにだけど、本当は抵抗できないのではないか」など少しでもおかしいと思ったものは全てチームに報告されます。

○皆さんが誰かに相談しようと思ったら、担任の先生でも、隣のクラスの先生でも、養護の先生でも、お父さんやお母さんや周りの大人の人など、誰にでも相談して下さい。

・必ず、学校のいじめ対策チームがすぐに皆さんを救い出し、いじめを永久に止めさせます。

◇安心して相談できます。相談するときは、皆さんをいじめから守ることが最優先されます。

・勝手に、相手に皆さんからの相談を教えるようなことはありません。

・いじめが止まった後も、いじめが繰り返されないよう、皆さんが仕返しを受けないよう、徹底して皆さんを守ります。

・インターネットのいじめも、嫌な苦しい書き込みは削除されるようになります。

◇いじめをしてしまった皆さんは、なぜ、いじめをしてしまったのかその原因を、学校の先生、お父さんお母さん、そして、いろんな専門家の人と一緒に考えて、二度といじめをしないように、しなくてもすむようになってもらいます。

・しかし、ひどいいじめをした場合は、警察の補導を受けたり、逮捕をされてしまうこともあります。

◇学校のいじめ対策のチームの他に、学校ぐるみの「いじめの防止プログラム」を作り、みんなで実行していくことになっています。

・「いじめられている子どもは何も悪くない」、「いじめは絶対にしてはいけないことだ」、「いじめをすることは卑怯で恥ずかしいことだ」と学校の全てのみんなが考えるようになっていきます。

・いじめをしている皆さんが、自分達のやることが恥ずかしくて居たたまれない雰囲気为学校が変わっていくこととなります。

◇また、学校のいじめ対策のチームには、順番に全ての学校の先生が一人残らず参加していきます。

・全ての先生がいじめ対策のチームの一員になることを経験して、学校の先生は、いじめから皆さんを徹底的に守り抜く一番の味方になります。

・誰か、皆さんの苦しみを理解してくれない先生がいても、他の先生がチームになって皆さんを助け出してくれます。

◇いじめに気付いたお友達も、学校の先生や周りの大人に相談して下さい。

・どの学校の先生に相談しても、いじめを受けているお友達をいじめ対策のチームが救い出し、相談してくれたお友達は仕返しを受けることなく、いじめを止めさせます。

◇この法律のもとでは、「いじめがあつて当たり前前の学校」、「いじめがあつてもしょうがない学校」から、「いじめは絶対に発見され、いじめられている子どもは必ず救い出される学校」、「いじめを受けている子どもは何も悪くない、いじめは絶対に許されないとみんなが考える学校」に変わります。

・これからすぐに日本中の学校でこうした仕組みが始まります。

遅い学校でも今年の12月にはこうした仕組みが始まります。

・いじめを受けている皆さんは、決して絶望しないで下さい。

皆さんは、今の辛い状態から、必ず救い出されます。

・いじめをしている皆さんは、直ちにいじめを止めて下さい。

皆さんのいじめは必ず発見され、通報され、止めさせられ、大きな後悔をすることになります。

もう二度といじめで自殺する子どもがいないように、いじめから皆さんを絶対を守るために、世界一の仕組みを作りました。必ず、楽しい学校生活に戻れます。皆さんは世界で一番大切な存在です。生きて下さい。

2013年10月11日
参議院議員 小西 洋之

※ いじめ防止対策推進法の国の「基本方針」の策定に当たっては、立法者として、法制定時に私が全て起案した附帯決議の趣旨などを全面的に反映させることにより、当初の民主党案の構想を実現すべく、あらゆる手段を講じて全力を尽くしました。

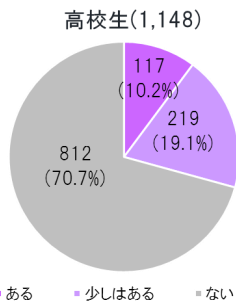
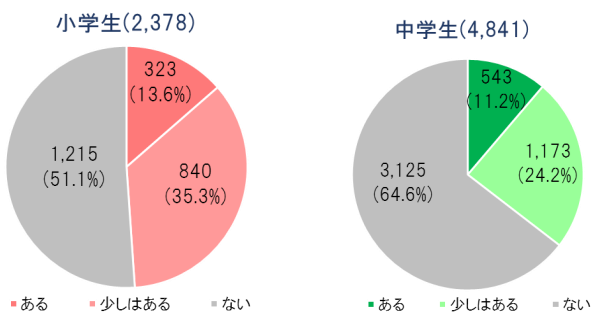
結果的に、私の修正意見が文部科学省の協議会の提出資料とされるなどして、取りまとめられた基本方針は、かけがえのない子ども達の生命と尊厳を救うために諸外国のいじめ法制等の分析の上に立案した民主党案の仕組みが殆ど盛り込まれ、政界最高水準の対策となったと考えています。

9月に行われたシンポジウムで発表した『いじめアンケート』の調査結果概要（抜粋）をご紹介します。

回収期間：2012年10月～2013年5月
 回収地：全国15都道府県30校
 （小学校13・中学校14・高校3）
 回収数：8,361件
 男子：4,371(53.2%), 女子：3,842(46.8%)
 小学校 2,405(28.8%), 中学校 4,815(57.6%),
 高校 1,141(13.6%)
 方法：講演を行った際に、承諾が得られた学校に配布および回収を依頼
 質問項目：全16問＋自由記述

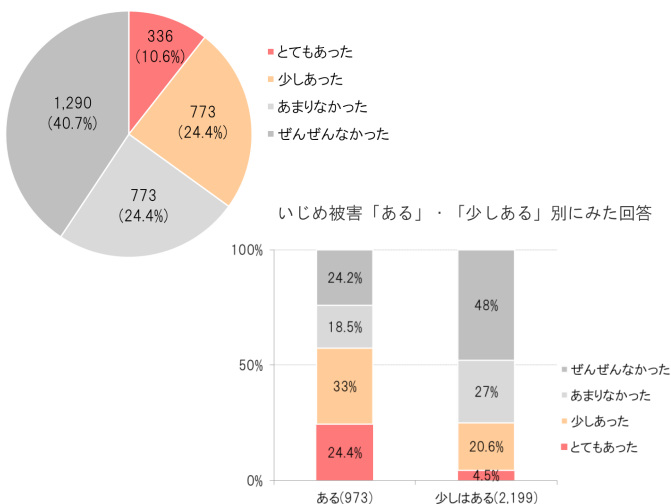
■いじめ被害の経験（「ある」＋「少しある」）は、全体で38.4%。

→小学生では約半数



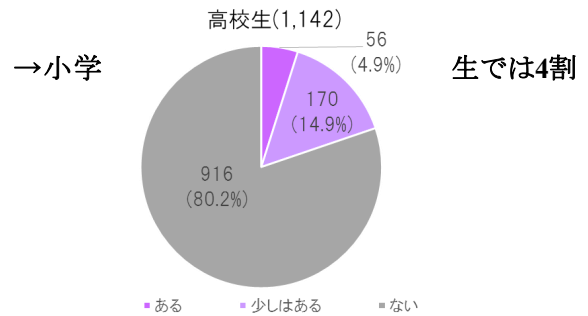
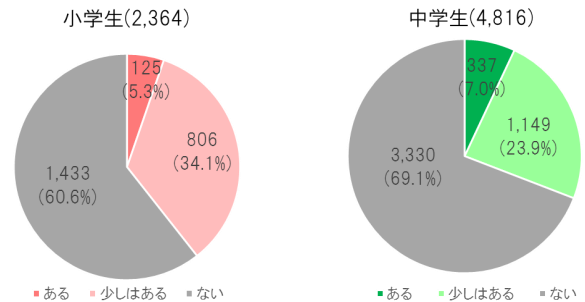
■いじめ被害のある約3人に1人が「つらくて死んでしまいたい」と思ったことがあると回答。

→いじめられたことが「ある」と答えている場合に顕著

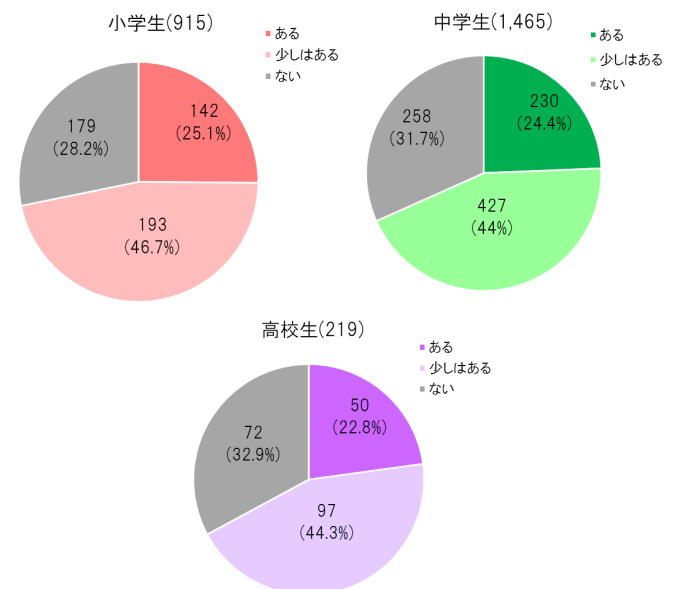


■いじめ被害の相談相手として多かったのは、親、教師、友達であるが、教師に相談した結果「問題が大きくなってしまった」というケースが他の親や友達より多い。

■いじめ加害の経験（「ある」＋「少しある」）は全体で31.7%。

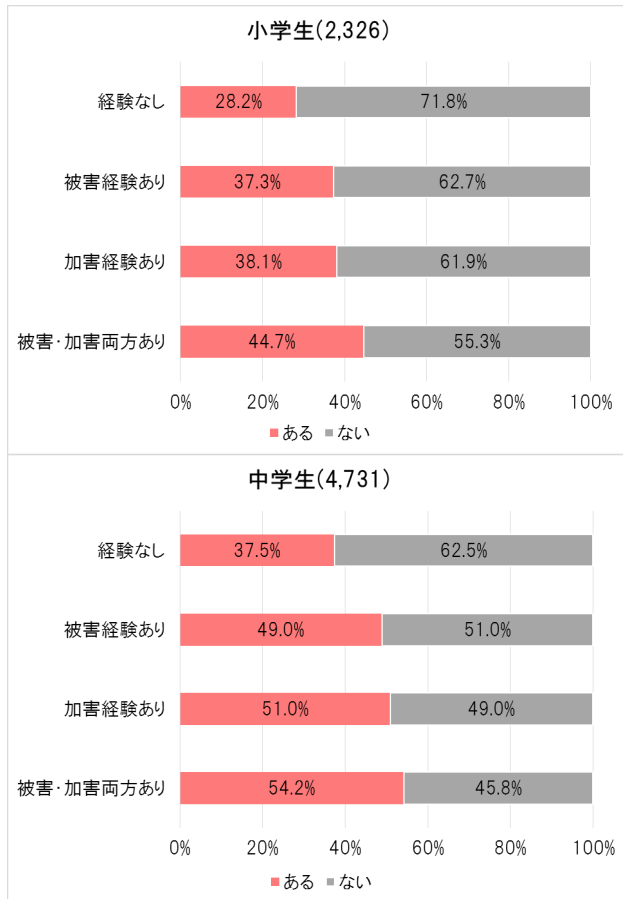


■いじめ加害者の約7割が、「いじめをしていた頃、自分も悩んだりつらかったことがあった」と回答。

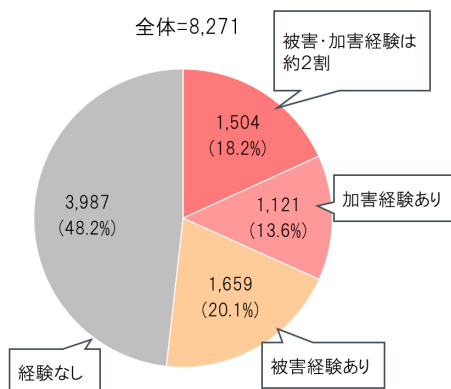


■大人から「やられた時はやり返して良い」「やり返すぐらいの強さも必要」と教わったことがある児童生徒は、小学生35.9%、中学生44.3%、高校生50.2%

■いじめ経験を4群（経験なし・被害のみ・加害のみ・被害加害両方あり）に分けると、大人から「やり返して良い」と教わったことがある子どもの割合が最も多かったのは「被害加害両方あり」群であった。
 (小学生 44.7% 中学生 54.2%)



■いじめの被害加害どちらの経験もある児童生徒は、全体で18.2%。
 →小学生では25.5%で4人に1人



■いじめが起きた際に、教師に相談したいか、教師による解決を望むかについては、いじめの経験がない子、被害経験のある子は比較的ニーズが高いが、一

方、加害経験や被害加害両方の経験がある子は教師に対する期待が低い。

→「先生は自分の気持ちがわかってくれる（自分の気持ちへの共感）」についても同様の傾向がみられた

■大人から「やり返しても良い」と教わったことのある子どもは、教師によるいじめの相談や解決、そして自分の気持ちへの共感に対する期待が低くなり、特に加害経験のある子に顕著である。

※ 自由記述の中のいくつかの意見を紹介します

◇ 何も言いたくない。信用できないから。信頼していません。

◇ 大丈夫、僕は平気だから、だけどもっと僕の気持ちを分かってほしいです。

◇ 私は、3年の時に、蹴る行為をされました。その時は、なんにもやってないのに、なぜやられたのがすごい疑問です。3年の担任の先生に言いました。でも先生は、いそがしくて、いまはできませんと言いました。すごいかんじかったです。でも、他の先生が解決してくれたので、すごくうれしかったです。でも、最初に言った先生が助けてくれなかったのがやだった

◇ 私は、今の世の中はおかしいと思います。ニュースなどで、自分の学校の名誉のためにイジメはなかったという学校があるからです。イジメがあって相談しても、「自殺」というあまりに悲しい結果になってしまっています。ですから、先生や、家の人たちは、もう少し子どもと、イジメに向かい合っていかなければならないと私は思います。

そうすれば、この世の中、イジメがなくなって皆が幸福になれるのではないかと思います。

◇ 先生へ もし、わたしがいじめにあったら。相談にのってくれますか。もし、わたしがいじめにあったらしかえしはしてはいけないのですよね。

では、どうやって、そのうらみをだせばいいのですか。わたしを、自由の身にしてください。ママ、パパへ わたしは、死のうと思ったことはたくさんあります。でも思い直すと、そだててくれたママ、パパをかなしませるわけにはいかないと思います。でも、ストレスはっさんすればいいのかわかりません。わたしを、自由の身にしてください。

◆ 活動のご報告と今後の予定 ◆

日付	主催者	都道府県	都市	人数
2013/11/1	東近江市立箕作小学校	滋賀	東近江	500
2013/11/1	和泉市人権啓発研修	大阪	和泉	
2013/11/2	泉大津市立穴師小学校PTA研修会	大阪	泉大津	300
2013/11/2	藤嶺学園藤沢中・高等学校PTA研修	神奈川	藤沢	100
2013/11/4	能美市立根上中学校	石川	能美	750
2013/11/6	砺波市立庄東小学校	富山	砺波	185
2013/11/6	国分寺市教育委員会	東京	国分寺	200
2013/11/9	川崎市宮前市民館人権学習	神奈川	川崎	30
2013/11/12	米子市立福米中学校	鳥取	米子	600
2013/11/13	津山市立鶴山小学校	岡山	津山	80
2013/11/14	豊中市立中豊島小学校	大阪	豊中	410
2013/11/14	柏市立柏高等学校	千葉	柏	1,040
2013/11/15	守山市立中洲幼稚園PTAつくし会	滋賀	守山	45
2013/11/16	長浜市立浅井中学校	滋賀	長浜	650
2013/11/17	見附市立今町小・中合同いじめ根絶スクール	新潟	見附	490
2013/11/17	和歌山県立海南高等学校大成校舎育友会	和歌山	海草郡	100
2013/11/19	横浜市旭区人権啓発講演会	神奈川	横浜	300
2013/11/20	横浜市立保土ヶ谷小学校教員研修	神奈川	横浜	40
2013/11/21	滋賀県小学校校長研修	滋賀	野洲	230
2013/11/21	滋賀県中学校校長研修	滋賀	野洲	100
2013/11/22	横浜市立小山台小学校PTA研修会	神奈川	横浜	30
2013/11/22	秦野市立南が丘中学校	神奈川	秦野	320
2013/11/22	横浜市都市整備局総務課職員研修	神奈川	横浜	60
2013/11/23	みどり市人権講座	群馬	みどり	40
2013/11/25	士幌高等学校	北海道	河東郡	180
2013/11/26	札幌いじめ問題シンポジウム	北海道	札幌	220
2013/11/26	上越市立国府小学校	新潟	上越	500
2013/11/28	松戸市PTA連絡協議会	千葉	松戸	300
2013/11/28	市原市立国分寺台西中学校	千葉	市原	500
2013/11/29	岩倉市立岩倉中学校	愛知	岩倉	310
2013/11/29	厚木愛甲地区学校警察連絡協議会	神奈川	厚木	40
2013/12/1	NPO法人青い空	東京	板橋	80
2013/12/1	橘中学校区3校2園PTA連絡協議会	神奈川	小田原	300
2013/12/2	横浜市立釜利谷南小学校	神奈川	横浜	200
2013/12/2	川崎市立下作延小学校	神奈川	川崎	250
2013/12/3	柏市立柏中学校	千葉	柏	630
2013/12/3	石川県警少年被害者支援分科会	石川	金沢	100
2013/12/4	東海大学付属熊本星翔高等学校	熊本	熊本	1,250
2013/12/4	柏市立松葉中学校	千葉	柏	680
2013/12/5	倉敷市立玉島西中学校	岡山	倉敷	550
2013/12/5	成田市立久住中学校	千葉	成田	90

日付	主催者	都道府県	都市	人数
2013/12/6	倉敷市立真備東中学校	岡山	倉敷	400
2013/12/7	横浜市教育委員会「いじめフォーラム」	神奈川	横浜	200
2013/12/10	真庭市立勝山中学校	岡山	真庭	250
2013/12/10	小浜市立小浜第二中学校	福井	小浜	600
2013/12/11	熊本県立人吉高等学校	熊本	熊本	900
2013/12/12	熊本県立玉名高等学校	熊本	玉名	1,250
2013/12/13	上越市立名立中学校	新潟	上越	110
2013/12/14	南足柄市人権講演会	神奈川	南足柄	290
2013/12/15	日本小児科学会いじめ問題ワークショップ	愛知	名古屋	200
2013/12/16	愛西市立永和中学校	愛知	愛西	240
2013/12/18	愛媛大学教育学部教職教養科特講	愛媛	松山	100
2013/12/20	倉敷市立福田南中学校	岡山	倉敷	
2014/1/14	横浜市経済局職員人権研修①	神奈川	横浜	170
2014/1/18	北陸学院中学校	石川	金沢	120
2014/1/20	横浜市経済局職員人権研修②	神奈川	横浜	170
2014/1/22	川崎市立有馬小学校	神奈川	川崎	320
2014/1/23	横浜市立幸ヶ谷小学校	神奈川	横浜	300
2014/1/24	横浜市教育委員会事務局職員人権啓発研修	神奈川	横浜	250
2014/1/25	(社福)仙台いのちの電話	宮城	仙台	250
2014/1/26	(公財)人権教育啓発推進センターシンポジウム in 長崎	長崎	長崎	500
2014/1/28	足立区職員人権研修	東京	足立	350
2014/2/1	皆野町自殺予防ゲートキーパー研修	埼玉	皆野町	100
2014/2/6	足立区職員人権研修	東京	足立	350
2014/2/7	光泉中学高等学校	滋賀	草津	400
2013/2/8	全教滋賀教職員組合教研プロジェクト	滋賀	米原	70
2014/2/9	三上学区人権啓発推進協議会	滋賀	野洲	100
2014/2/11	横浜市立日野南小学校PTA	神奈川	横浜	40
2014/2/12	岡山少年院	岡山	岡山	60
2014/2/15	人権問題課題別研修会	高知	高知	50
2014/2/21	福岡県立学校等生徒指導主事研究協議会	福岡	福岡	120
2014/2/28	柏市立酒井根中学校	千葉	柏	750
2014/3/1	堺市こころの健康づくり講演会	大阪	堺市	500
2014/3/13	静岡県立小山高等学校	静岡	駿東郡	360
2014/3/23	かわさきチャイルドラインボランティア養成講座	神奈川	川崎	
2014/4/25	茅ヶ崎寒川地区小学校教育研究会	神奈川	茅ヶ崎	

～ お 知 ら せ ～

只今、ジェントルハートプロジェクトのホームページの大幅リニューアルを計画中です。
今号のアンケートも含め、発表済のデータにもアクセス出来るようにする予定です。
今までよりも発信性の高い、みなさまのお役に立てるホームページを目指して鋭意作業を進めておりますので、しばらくお待ちください。 乞うご期待！！



◇ 橋がかかる ◇ ひととひととの出会い、そこにかかる橋

ここでは毎回ジェントルハートプロジェクトに関わる方々の思いなどを自由にお書き頂くコーナーです。今回は八尾市立高安西小学校校長の山中進一先生にお願いしました。

～いじめの未然防止に向けた取り組み～

山中 進一

自分を大切にし、まわりの人を大切にするために本校では、自分を大切にし、まわりの人を大切に、豊かな心を育むことをめざして、各学年の発達段階に応じた教材を学習することとしています。年間計画に基づき、9月から10月にかけて、優しさにつながる学習をしたあと、3年生以上の児童については、10月17日(木)小森美登里さんに来ていただき聞き取り学習をしました。40名以上の保護者や地域の方の参加もいただき、地域と家庭と学校が一緒になり、ともにいじめについて考えさせていただくこともできました。

すべての学級で共通した学習をするために本校は、学校内でいじめ問題を中心的に扱う人権教育推進部を設置しています。

人権教育推進部では、保護者の方や地域の方の情報も含め、校内で情報収集をして課題の共有化を図っています。部内で整理したことを、さらに職員全体で協議し、いじめ未然防止や問題事象が生じた時の対応について共通理解して、組織的に取り組みを推進しています。今回の聞き取り学習は、未然防止の学習として取り組んだものです。しかし、いじめ問題は、より見えにくく、判断しにくくなっているということも一方で感じています。教職員が常にいじめを見逃さない鋭い感覚をもち指導にあたるよう努めています。そのために、学年内では毎日、職員全体では最低月1回、子どもたちの様子を情報交流する時間を設けています。

小森さんのお話を聞いて思うこと(児童の感想)

◆ この話を聞いて、人間は一人じゃないということを知りました。これまで、友だちにいじめられたら、やりかえすと思っていたけど、小森みどりさんに「やりかえさなくてもいい」と教えてもらいました。ありがとうございました。(3年)

◆ この話を聞いて、とても感動しました。心は1回傷ついたら、治すのがとても難しいと初めて気付きました。命はたったひとつだけしかないから、大切にしなければならぬと、改めて思いました。お母さんやお父さんに反抗期とか、そういうことを、大きくなったらするかもしれない。でも、お母さんとかお父さんは、私のために子育てしてくれてるから、そんなことは絶対してはいけません。今日この話を聞いて、とても勉強になりました。ありがとうございました。(3年)

◆ 昨日もいじめに関わる授業がありました。でも、今日は自殺のお話でした。小森みどりさんという、お子さんを自殺で失った人が神奈川県横浜市から来てくれました。話がすごく分かりやすく勉強になりました。ぼくが大人になって、結こんで子どもが生まれて、その子がもしいじめにあっていたら、しっかり話し合っあげたいです。今日は本当にありがとうございました。これからはこの勉強を生かしてがんばりたいです。(4年)

◆ 今日の聞き取り学習で、いじめとかいやがらせは「とてもだめだな」と思いました。もし、友だちがいやがらせなどをしていたら、止めなければいけないと思いました。いじめられている人の苦しみや悲しみが今日の勉強で分かりました。もし、だれかがいじめられていたとしても、命をたつことはしないでほしいと思いました。いじめはぜったいにしないようにします。とてもいい勉強になりました。ありがとうございました。(4年)

◆ わたしは、「やさしい心が一番大切だよ」のお話を聞いて、小森さんは本当に悲しい思いをしたんだなと思いました。かすみさんをいじめた人は、なぜ、どんな理由があっただけなのかなと思いました。わたしも、友だちにかげ口を言われると、きずつくけど、それと同時に、「わたしのことをなにもわかってなくせに、なんでそんなこと言えるのかな。」と思います。それと、かすみさんが亡くなる前にワープロに書いた詩の「まどの外には」を見つけたとき、小森さんはどう思ったのかなと思いました。わたしは、いじめをした人は、どんな理由があろうと、かすみさんをきずつけた罪は重いと思います。理由は、その人たちがいじめたのが原因で、かすみさんが亡くなったからです。

もし、わたしが中学生や高校生になってこんなことが起きれば、どうすればいいかわからないけど、いじめを止める勇気が持てたらいいなと思います。今日はありがとうございました。(5年)

◆ 人には自由がある。人には幸せになれる権利がある。生きている意味が無いなんて思うことはない。悲しみを、ひとりで持っている必要はない。今日の講演会で、生きていること、生まれていることに、意味がない人はいないということがよくわかりました。この世に、亡くなっていい命なんて、ひとつもない。私は、今度から、いじめられている人を見たら、何か声をかけようと思います。そして、いじめがなくなる事を願い続けます。(6年)